

JTA・RAC 航空機客室内および空港における 抗ウイルス・抗菌コーティングを完了

2021年6月14日
第21011号

日本トランスオーシャン航空(本社:那覇市、社長:青木紀将、以下JTA)と琉球エア・コミュニケーター(本社:那覇市、社長:金城清典、以下RAC)は、この度、全航空機(*1)の客室内をはじめ、県内全ての空港(8空港、*2)のチェックインカウンターやお客さまが使用する自動チェックイン機、車いす、保安検査場のトレイなどの抗ウイルス・抗菌コーティングを完了しました。

*1: JTA保有13機およびRAC保有5機の全機。

*2: 那覇・久米島・宮古・石垣・南大東・北大東・多良間・与那国の全8空港。那覇空港国内線ラウンジ内。

JTA・RACでは、これまでもお客さまとともに常に衛生的で清潔な環境作りに努めてまいりましたが、お客さまが直接手を触れる箇所を中心とした抗ウイルス・抗菌コーティングを実施することで、さらに安全・安心なサービスのご提供が可能となりました。先般、サービス延長とご利用対象拡大を決定しております「JAL国内線PCR検査サービス」(<https://press.jal.co.jp/ja/release/202106/006091.html>)とともに、お客さまにはより安心してご利用いただけます。

以上

【抗ウイルス・抗菌コーティング】

触媒の作用によりその効果が長期間持続するもので、お客さまが直接手を触れる箇所を中心に実施しております。今回使用したコーティング剤は、抗菌製品技術協議会(SIAA)の定める抗ウイルス・抗菌性能と安全性が確認されております。コーティング済みの航空機、空港内各所には「SIAA」の認証マークを表示しております。

